

製品名: サイクリン H (1A7) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03655**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG2b |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000 |
| 分子量 | Calculated MW: 38 kDa; Observed MW: 38 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | CCNH |
| 別名 | CCNH; Cyclin-H; MO15-associated protein; p34; p37 |
| 遺伝子 ID | 902 |
| SwissProt ID | P51946 |
| 免疫原 | ヒトサイクリン H の合成ペプチド |

背景

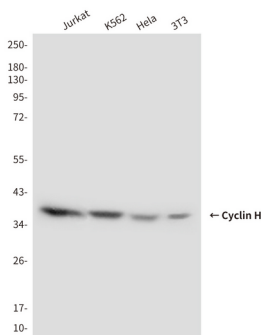
CDK 活性化キナーゼ (CAK) 酵素複合体の触媒サブユニットである CDK7 を制御します。CAK は、スレオニンリン酸化によってサイクリン関連キナーゼ CDK1、CDK2、CDK4、および CDK6 を活性化します。コア TFIID 基底転写因子と複合体を形成した CAK は、そ

の大サブユニット (POLR2A) の反復 C 末端ドメイン (CTD) のセリンリン酸化によって RNA ポリメラーゼ II を活性化し、プロモーターからの離脱と転写産物の伸長を可能にします。細胞周期制御および RNA ポリメラーゼ II による RNA 転写に関与しています。その発現と活性は細胞周期を通じて一定です。

研究分野

細胞生物学

画像データ



Cyclin H 抗体を使用した、Jurkat、K562、HeLa、および 3T3 溶解物中の Cyclin H のウエスタン プロット分析。